

外来の転倒に関するインシデントレポートの分析と重症要因の調査

2017年4月1日～2024年3月31日までに日本医科大学多摩永山病院を受診し院内で転倒をされた患者さん

研究協力をお願い

日本医科大学多摩永山病院外来では「転倒の重症化要因を明らかにする」という研究を行います。この研究は、2017年4月1日から2024年3月31日までに外来を受診し、転倒された患者さんの記録を使用します。2017年から2023年のインシデントレポートから「年齢」「性別」「診療科」「疾患名」「補助具」「緊急レベル」「転倒」「場所」「転倒階」「外科的処置」「事象レベル」「時間帯」「付き添い」「身体状況」「転倒歴」「転倒回数」「転倒後の入院の有無」「転倒による骨折の有無」「転倒後の外科的処置の有無」「入院した患者の転帰」についてデータの収集をさせていただきます。当院外来での転倒の実態と重症化要因を明らかにする研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡ください。

(1) 研究の概要について

研究課題名：外来の転倒に関するインシデントレポートの分析と重症化要因の調査

研究予定期間：研究期間の長の実施許可日～ 2025年3月31日

調査対象期間：2017年4月1日から2024年3月31日

研究責任者：日本医科大学多摩永山病院 看護部 看護師 武田征子

(2) 研究の意義、目的について

過去7年分の外来で発生した転倒インシデントレポートを分析します。導き出された重症化要因から当院の特徴に適した転倒予防対策を考察し、転倒の特徴や、そこに焦点を当てた予防策の検討に繋がると考えます。また、転倒の特徴を外来内で周知することで外来患者さんが安全に受診できるサポートができると考えます。

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2017年4月1日から2024年3月31日日本医科大学多摩永山病院外来にて、転倒された患者さんのインシデントレポートを分析し、転倒の実態と重症化要因を明らかにしたいと考えています。

この研究は、インシデントレポートから情報を収集し分析して用います。

情報：年齢「性別」「診療科」「疾患名」「補助具」「緊急レベル」「転倒」「場所」「転倒階」「外科的処置」「事象レベル」「時間帯」「付き添い」「身体状況」「転倒歴」「転倒回数」「転倒後の入院の有無」「転倒による骨折の有無」「転倒後の外科的処置の有無」「入院した患者の転帰」についてデータの収集をさせていただきます。

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

(6) 問い合わせ等の連絡先

担当者：看護部 外来 武田征子

日本医科大学多摩永山病院 倫理委員会事務局

〒206-8512 東京都多摩市永山1丁目7-1

電話番号：042-371-2111（代表） 内線：2302

メールアドレス：nagayama-chiken_center@nms.ac.jp